

人を対象とする医学系研究に関する情報公開（オプトアウト）

国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」において、人を対象とした医学系研究を実施するに当たっては、原則としてあらかじめ研究対象者又はその代諾者から同意を得ることとされています。

また、同意を得ることが困難な場合には、あらかじめ研究に関する情報を公開し、研究対象者等が拒否できる機会を保障することによって、同意を得ることを省略できるとされています。このような方法を、「オプトアウト」と呼びます。

以下に、オプトアウトにより実施する研究に関する情報を公開いたします。**この研究の対象者となることを拒否される場合は、以下の連絡先までご連絡願います。**ご連絡いただいた場合は、ただちに研究の対象とすることを取りやめます。もちろん、拒否により不利益が生じることはありません。

1. 研究の名称
大腸憩室重篤症例の解析
2. 対象となる方
2011年1月～2017年12月の期間に腹部の症状があってCT検査を行った患者様
3. 試料・情報の利用目的及び利用方法
大腸憩室関連疾患は高齢化に伴い増加傾向にあります。憩室の合併症として出血や憩室炎、穿孔などがあり、憩室炎は時として膿瘍形成や穿孔をきたし重篤化することがあります。しかし、憩室炎が重篤化する因子ははっきりしておらず、今回その臨床的特徴と危険因子を明らかにすることを目的とします。
4. 利用し、又は提供する試料・情報の項目
診療情報（採血・画像データ・治療経過等）を匿名化して使用します。
5. 利用する者の範囲
本研究に関わる研究者
6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名
研究責任者： 消化器内科 本田 宗倫
7. 本研究に関するご連絡先
研究代表者： 本田 宗倫 連絡先：JCHO 熊本総合病院 消化器内科 電話 0965-32-7111 (平日 9:00～17:00)